

議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

市長が行った専決処分を不承認

概要 令和8年度加西市一般会計補正予算（第1号）について、地方自治法第179条第1項に規定する「議会において議決すべき事件を議決しないとき」とみなして専決処分したため、同条第3項の規定により議会の承認を求めるもの。

質疑

問 市長は、この専決処分を法的に問題がないと理解されているのか。

答 （市長）議決放棄であり、全く問題がないから専決処分させていただきました。

討論

賛成

- ・専決処分の違法性の有無は裁判所が判断すべき問題

報告第8号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（令和8年度加西市一般会計補正予算（第1号））

であり、議会が結論を出すべき性質のものではない。

反対

- ・議会は議決しており、議決放棄はしていない。
- ・質疑において市長からは納得のいく答弁がない。
- ・議会の監視機能としての法適合性チェックは必要かつ重要である。

議決結果

賛成7、反対7の可否同数となり、議長裁決で原案不承認



議案審議を経ずに学校跡地等を処分できる条例案を否決

概要 遊休公共施設等について、地域住民との連携のもと民間事業者の知識及び経験を活用した利活用を推進することにより、維持管理費の縮減とともに経済の活性化、地域の活性化及び持続可能な地域社会の形成に寄与するため、必要な事項を定めるもの。

質疑

問 市の財産の処分については、これまで議会で議論して決定してきた。慎重性とスピード感をどのように考えるか。

答 学校跡地活用について関心を示している事業者は早急に活用したい意向です。議会招集には時間がかかり、迅速な対応が難しくなります。

議案第63号 加西市遊休公共施設等利活用促進条例の制定について

討論

賛成

- ・その都度、議会に諮ることで時間ばかり費やし、行政の意思決定がリアルタイムにできないため事業者にとっては不安感大きい。

反対

- ・民間活力の導入を急ぐあまり、市民共有の財産を過度な優遇条件で提供することになれば、将来にわたり市民に不利益を残すおそれがある。

議決結果

賛成6、反対8の賛成少数で原案否決

